

【第2期】

苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略

北海道苫小牧市

令和2年3月

目次

第1章 はじめに

- 1. 苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略策定の背景 1
- 2. 苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略の位置づけ 2
- 3. 「OODAループ」による進行管理 3

第2章 苫小牧市人口ビジョン

- 1. 人口ビジョンの基本的な考え方 4
- 2. 人口の現状分析 5
 - (1) 人口動向の分析 5
 - (2) 市民意識の分析 24
- 3. 人口の将来展望 29
 - (1) 目指すべき将来の方向性 29
 - (2) 将来展望人口のシミュレーション 31
 - (3) 人口の将来展望 32

第3章 苫小牧市総合戦略

- 1. 総合戦略の基本的な考え方 33
- 2. 基本目標 34
- 3. 施策の体系 34
- 4. SDGsの視点による地方創生 35
- 5. 多様性に富んだ社会、安全・安心な地域づくりで地方創生を推進 35

- (基本目標1) 地元企業と学生との“つながり”を強化し、
地元雇用の確保と拡大を実現 36

- 1-1 若者の雇用機会の確保・拡大 37
- 1-2 学生と地元企業との“縁づくり”促進 39
- 1-3 創業支援 41
- 1-4 Society5.0実現の推進 43

- (基本目標2) 子育てしながら仕事を続けられる社会環境の整備 45

- 2-1 仕事と子育ての両立支援 46
- 2-2 出産・子育てしやすさを実感できる支援 48
- 2-3 苫小牧らしい教育プログラム形成支援 50
- 2-4 ワーク・ライフ・バランスの促進 52

- (基本目標3) 地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進 53

- 3-1 苫小牧出身者のネットワーク化支援 54
- 3-2 交流人口・定住人口の拡大支援 55
- 3-3 “とまごころ（地元自慢・愛する心）”の普及 59

3-4 関係人口の創出	61
(基本目標4) 産業競争力を高め、地域ブランド力を向上	63
4-1 進出・立地企業へのサポート機能の強化	64
4-2 多様な産業集積（高度化）の推進	66
4-3 地域間連携の促進	68
4-4 充実した都市機能と豊かな自然の共生	70

第1章 はじめに

1. 苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略策定の背景

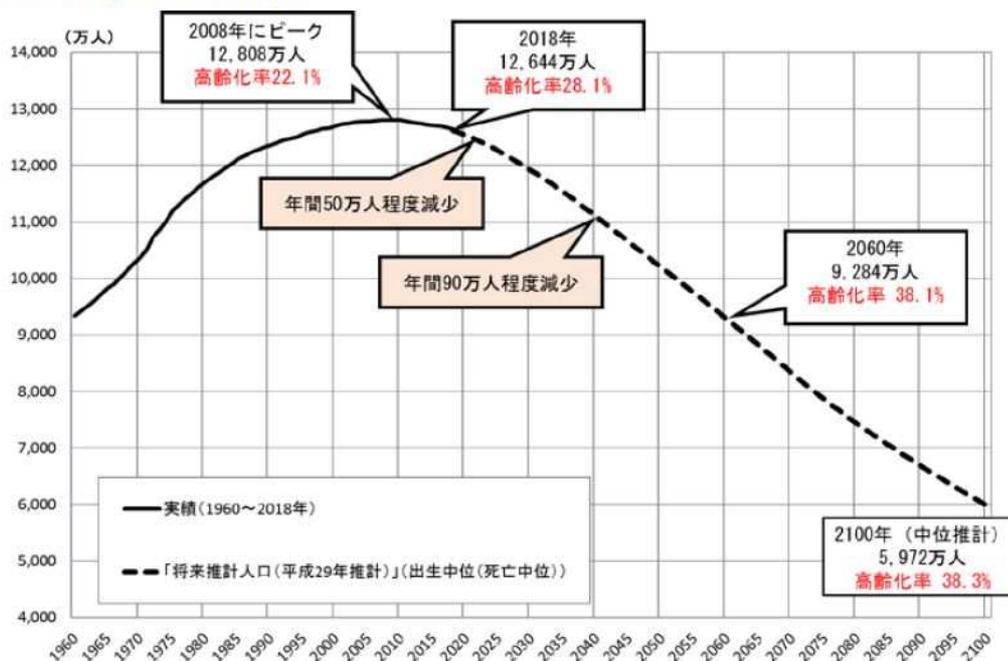
策定の経緯

わが国の人口は、平成20年(2008年)をピークとして減少局面に入っており、今後、令和42年(2060年)には9,284万人、令和82年(2100年)には5,972万人まで減少すると推計されています。人口増減に影響を与える出生状況をも、平成30年(2018年)の全国の合計特殊出生率は1.42となっており、人口を維持するために必要な合計特殊出生率(1人の女性が一生の間に産む子供の平均数)である2.07を大きく下回っています。さらに、東京都における合計特殊出生率は全国の中で最も低くなっていることから、東京圏への一極集中が続くと、日本全体として人口減少が加速することが考えられ、短中期的に人口減少が避けられない状況であることが想定されています。

平成26年(2014年)11月に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、本市においても産学官金労、女性、若者などの幅広い分野の協力・参画を得て「苫小牧市総合戦略推進会議」を立ち上げ議論を重ね、「苫小牧市総合戦略」を策定しています。

人口減少対策は長期的な視点に立ち、切れ目なく取り組んでいくことが重要であるとともに、人口減少は避けられないとの認識を市民と共有し、このような時代にあっても持続可能なまちづくりを進められるよう、第2期戦略として策定しています。

総人口の推移と将来推計



総務省「国勢調査」、社人研「将来推計人口(平成29年推計)」等に基づき作成。

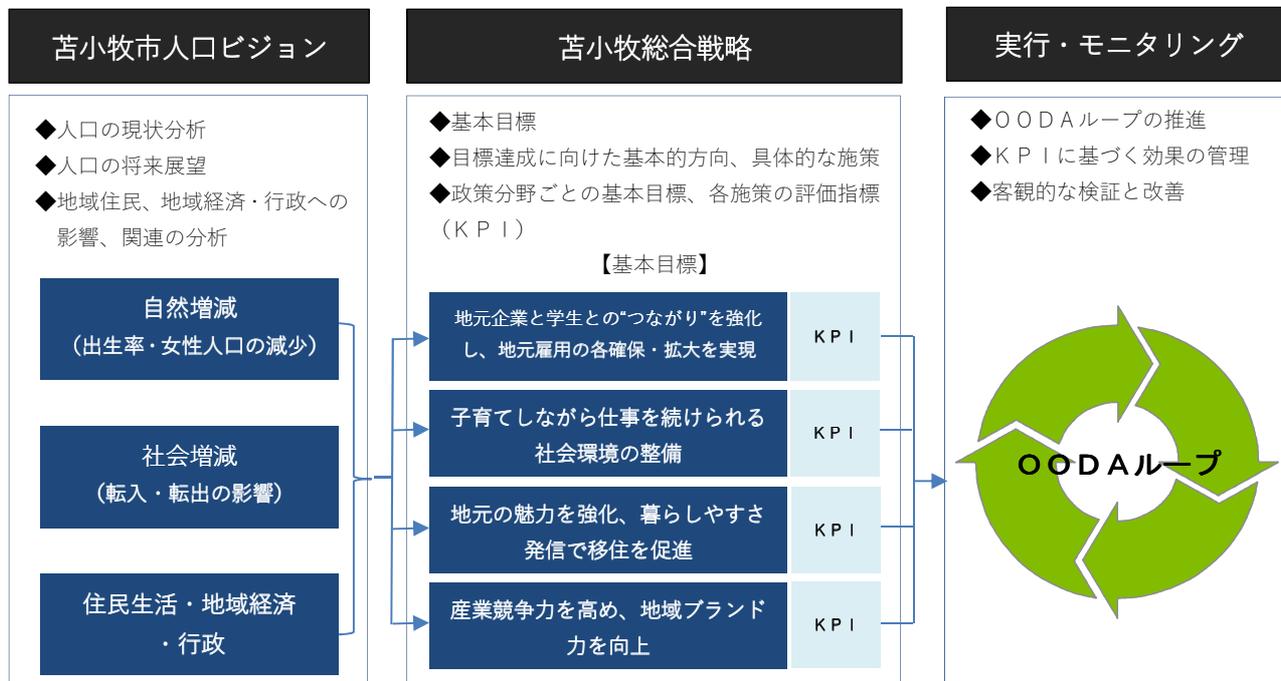
(注)「高齢化率」は総人口に占める老年人口(65歳以上人口)の割合。

出所:『まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」総合戦略』(内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局)

2. 苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略の位置づけ

全体構成

苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略は、「人口ビジョン」と「総合戦略」の2つからなります。また、実施段階ではOODAループによるモニタリングを行います。



国の総合戦略との関係

苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、国の「長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して策定するとともに、本市における課題や現状を踏まえて策定するものです。

国	長期ビジョン： 令和42年（2060年）に1億人程度の人口を確保する中長期展望 総合戦略： 令和2年度～令和6年度（2020～2024年度）の5か年における政策目標・施策
地方	地方人口ビジョン： 各自治体の人口動向・将来人口推計の分析や中長期の将来展望 地方版総合戦略： 令和2年度～令和6年度（2020～2024年度）の5か年における政策目標・施策

総合計画との関係

苫小牧市総合戦略は、本市が既に策定している「苫小牧市総合計画（平成30年度～令和4年度）」における各分野個別の計画や施策と整合を図りながら、人口減少対策に関する目標や施策をとりまとめ、行政（各部門）の関連する施策を総合的に推進します。

期間

人口ビジョン	令和2年（2020年）～令和42年（2060年）
第1期総合戦略	平成27年度（2015年度）～令和元年度（2019年度）
第2期総合戦略	令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）

3. 「OODAループ」による進行管理

施策の実施とモニタリング

総合戦略の推進に当たっては、政策分野ごとに各施策の効果を客観的に検証できる数値目標や指標（重要業績評価指標（KPI））を設定しています。OODAループによる進行管理として、観察（Observe）、状況判断・方向付け（Orient）、意思決定（Decide）、行動（Act）を行うことで実効性を高めていきます。なお、社会環境の変化、政策・施策・事業の進捗などに状況変化があった場合は、必要に応じて適宜見直すものとします。

KPI計画期間

本総合戦略のKPIの計画期間は、令和2年（2020年）から令和6年（2024年）までの5年間とします。

【Observe】 観察	施策を推進するに当たり、本市の取り巻く状況や社会情勢を観察（情報収集）
【Orient】 状況判断・方向付け	「観察」をもとに状況を判断し、方向付けを行う
【Decide】 意思決定	今後の具体的な方針や行動プランを決定
【Act】 行動	実際の行動（施策の推進）

